

家庭学習期間中の生徒の皆さんへ

2020/03/06 高校進路指導部

今回、高校4、5年生の皆さんに対し、各教科より学習課題の指示が出ましたので、該当する学年・学科・コースの指示をよく確認し、家庭学習に臨んでください。こちらでは主に進路実現に向けての学習への取り組み等についてすべきこと、学習のアドバイスを載せます。家庭学習期間が有意義なものになるように、よく読んで実践してください。なお、このアドバイスは4月の新学期開始までの学習と共通のものとなります。この一か月で皆さんの希望する進路が実現するかどうかが決まる可能性が高いと心得てください。希望する進路実現に向けて、できることに全力を注ぎましょう。

【4.5年生共通】

- ① 4月スタディーサポートに向けての国語・数学・英語の基礎の徹底的な見直し。
(日々の学習の振り返りとしてマナビジョンポートフォリオを毎日活用してください)
問題集(スタディーチャージ)は3月23日(月)の登校日に配布します。
 - ② Benesse マナビジョンポートフォリオでこの項目を全員、入力してください。
 - ・1年間の振り返り
 - ・長期休みに向けた目標設定(この休校期間から春休みにかけて)
 - ・ベネッセのテスト振り返りの記録
 - ・進路探求の記録(志望校分析)
- ※ 一般受験の生徒だけでなく、指定校・公募推薦を考えている生徒は、日々の学習に計画的に臨んでいるかをポートフォリオに入力し、その学習計画と振り返りを丁寧に記録することが望まれます。休校期間中も家庭学習に真摯な姿勢で向かいましょう。
- (ID・パスワードの紛失、ログインできない場合等は高校進路指導部まで連絡を)

【5年生の皆さんへ】

大学受験に向けて、一般受験を予定している皆さんは「大学入学共通テスト(新テスト)」まであと10か月です。残された時間の中で、優先すべきは国語・数学・英語の苦手分野の克服です。また、理科・社会の受験で必要な科目に関しても集中して取り組んでください。具体的な目標、学習方法と学習時間を設定して取り組みましょう。難関大合格者の半数以上が授業のある平日は2時間以上、休日は4時間以上の学習時間を確保しています(ベネッセ スタディーサポートより)。授業と部活動がないこの時期をこれまでの学習不足を補う絶好のチャンスととらえ、模試の復習とデータ分析を冷静に行い、志望校・学部学科・研究内容についてだけでなく受験科目等の情報もしっかりと調べ上げて記録し、受験勉強に臨んでください。また、国公立大学を受験する予定の生徒は、まだ受験教科を

絞らずにバランスよく 5 教科の学習に取り組みましょう。

推薦入試を考えている皆さんは、「①評定平均値を 0.1 でも上げる」「②志望理由書」「③小論文」「④面接」に向けた具体的な対策に取り組んでください。

① 学校の授業の復習が重要です。教科書レベルの基礎を徹底して繰り返し復習しましょう。まずは休校期間の課題に集中してしっかり取り組みましょう。

② 添削された学研志望理由書サポート講座が 3 月 23 日（月）に返却されます。添削で指摘されることが多いのが、「学部学科での学び」「職業」についての知識不足です。再度調べ直して、具体的な知識を整理しておきましょう。「自分がなぜこの学校を選んだのか」・「なぜこれを学びたいのか」を掘り下げてください。志望校での学び・研究と職業（自分の未来）が密接につながっていることを伝える準備が必要です。

③ 小論文と作文の違いを理解し、社会に関する幅広い一般常識（時事問題の知識）を身につけることが重要です。基礎的な小論文対策の問題集・用語集を各自 1 冊準備しておくことが重要です。日々新聞をよく読み、自分が受験する学校の出題傾向を HP 等で調べて、その分野について徹底的に調べてノート・資料（スクラップブック）、スマホや PC でブックマークのリストをつくりましょう。短い期間でもかなりの情報を身につけることが可能です。この知識を身につけながら学校が始まった際、実際に書く練習を何度も重ねて添削を受けて実力をつけていきましょう。今の時期から始めなければ間に合いません。

※ 第一学習社が「小論文学習用動画」を YouTube で無料配信しています。

ぜひ見てください。URL <https://www.daiichi-g.co.jp/shoron-mov/>

④ ②と③がしっかりできていれば、後は自然に話せるように練習を重ねるのみです。まずは②と③の対策に取り組み、面接で話すべき内容が定まるように準備をしましょう。

①～④はベネッセや各予備校など、web 上のサイトでも多くの情報が提供されています。積極的に調べて、各自準備して、必要と思われるものは購入して学習しましょう。

【4 年生の皆さんへ】

英語・数学・国語を中心に高校 1 年間で学んだ基礎の復習を徹底してください。この 1 年間で学習したことの基礎ができていなければ、進級後の学習の積み重ねが難しくなります。基礎的な内容の復習と苦手教科・弱点の克服に短期集中で臨んでください。その際上記の 5 年生と同じく、具体的な目標、学習方法と学習時間を設定して取り組みましょう。